



## 今月の記事

理事長挨拶

先月からの愛の園

私の仕事 Part II

リレーエッセイ

1～2月の予定



理事長  
宮崎靖子



## 「酉年に思う」

あけましておめでとうございます。

美しく晴れ渡った空、山から昇ってくる「初日」の光に包まれて、お元日を迎えました。そしてまず愛の園へ…。

「愛の園の祝賀会」で入居者の方達、職員の方たちと共に、新年を迎えられたことを喜びあい、優しい眼差しでお祝いの言葉を交わした瞬間、会場一杯に温かい空気、幸せが広がりました。「ああ、これが本当のおめでとう！！」なのだと思ひを噛みしめたのです。参加して下さる方達も車椅子の方が殆どになりました。年々不自由が増えてきていますが、それを受け入れ健気に生活なさっていらっしゃる姿、笑顔にいつも力をいただき、その方々の生きていらした道の尊さに手を合わせずにはいられない思いになります。愛の園でのご縁に感謝を深めています。

今年もいろいろな事に遭遇することでしょう。「命」を守っていくこと程尊い使命はありません。それを託された「愛の園」です。

酉年の酉という漢字は酒を造る酒壺、酒甕の

形にかたどった象形文字だそうですね。壺の中の麹が発酵し熟成することを示し、万物が熟し実る様子から、成る、革新等の意味があり、皆が知恵と力を合わせて団結し、切磋琢磨すれば、機が熟して素晴らしい成果を上げることが出来る年です、と書かれていました。「皆が知恵と力を合わせて団結し」、私達が作っていく酉年はどんな酉年になるのでしょうか。

後援会の方達、家族の会、多くのボランティアの方達のご支援が、愛の園を守り、豊かにしていただいていることを心新たに感謝申し上げます。

「今年が良い年であるように」、「皆が幸せであるように」と心からお祈り申し上げます。



愛の園家族の会からのクリスマスプレゼントとして3階ホールにテーブルと椅子をご寄贈いただきました。陽当たりのよいホールで寛ぎながら話が弾みます。ありがとうございました。

## 先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



10ユニットではお鍋を囲んでの忘年会が開かれ、1年間の交わりを振り返る楽しいパーティーになりました。今年もお元気で過ごしてください。 12/13



お正月を迎える準備には欠かせないお餅つき。とても賑やかなひと時でした。皆さんが代わる代わるつきあげたお餅は見事な鏡餅になりました。 12/28



クリスマスイブはキャンドルサービスとキャロリングを、25日はクリスマスの礼拝と祝会を行いました。イエスキリストのご降誕を再現する劇は入居者の皆さん・ボランティアのコーラス隊・職員が出演して大好評でした。後援会、家族の会、サンタクロースからたくさんのプレゼントをいただきました。 12/24・25





## 私の仕事 Part II (5) 「ケアマネジャーって？」 ケアマネジャー 小出 郁

私はケアマネジャーとは、利用者の方々のこれから先の人生が、幸せで気持ちよく過ごせるための、人生のガイド(道案内人)だと思っています。利用者やご家族の思いや願いに沿った支援を目指し、協働する多くの専門職との間に立ち調整する仕事ですが、1人で考えているとどうしても視野が狭まります。間違ったガイドになりかねません。広い視野がなければ利用者の思いに寄り添うことはできません。色々な立場の人から意見を聞いてケアプランに反映させることの大切さを感じます。そのためには自分自身の心と身体を安定させることが大切です。自分磨きの時間も大切にしながら気持ちをリフレッシュさせ、対人援助の仕事にプラスしていきたいと思っています。早速新年早々に高尾山に登りリフレッシュしてきました。

もうひとつ強く思うことは、介護保険以外の

制度やインフォーマルなサービス(家族・友人・ボランティアなど)を活用することが大切で重要であると捉えています。現在愛の園では、やまびこ会、ドッグセラピー、ヨガサークル、傾聴ボランティア、中口さんのマッサージ、上富田社協がコーディネートするボランティア、鍼灸院や整形外科医院の訪問、福祉ネイルとマッサージなど、様々なインフォーマルサービスを活用し、生活に色付けしています。柔軟な思考をもった対応を目指したいと思います。色々な支えがあって生活がより生き生きとしたものになることに感謝し、これからも新しいサービスを展開していけるよう、柔軟な対応でガイドしていきたいと思っています。



元旦の高尾山頂から



入居者の皆さんがついたお餅で作った鏡餅が新春の愛の園を飾っています。

## リレーエッセイ(51) 「小さな友達」 看護職員 釣本真次

こんにちは。医務室の釣本です。私事ではございますが、孫娘が10月で1歳になりました。世間では「孫は可愛い、孫は可愛い。」と言いますが、どこがそんなに可愛いのか、わかりませんでした。まして自分には息子が2人で女の子を育てたことがないので、最初は触るのも怖いくらいでした。それがだんだんと成長していくにつれ、ハイハイしたり、名前を呼ぶと振り向いたりするのを見ているとちよつとずつ触ってみたいくなり、抱っこもできるようになりました。

それまでは買い物について行ってもなんて気にならなかった子供服、それも女の子用。息子2人の時には見向きもしなかったのについつい足が止まってしまう。

今では歩くようになり、月に3~4回遊びに来てくれるのを夫婦2人で首を長くして待っています。

さすが、待ちきれずに会いに行くこともあります。世間の人々が言う「孫は可愛い、孫は可愛い。」という言葉は今、実感しています。孫娘の成長をメロメロになって見ている、ただの親バカならぬ爺バカでございます。次回は2ユニットの山本善子さんをお願いします。



「キリストの愛を以って互いに仕える」

社会福祉法人神愛会  
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103  
和歌山県西牟婁郡上富田町  
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

Facebookもチェック   
<https://www.facebook.com/shinaikai>

ホームページもご覧ください。  
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

## 1~2月の愛の園

- 12(木) やまびこ会
- 13(金) ネイルアート
- 15(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 16(月) マッサージボランティア ヨガ教室  
まりもと愉快な仲間たち来園
- 19(木) やまびこ会
- 20(金) 社協ボランティア来園
- 22(日) 礼拝(聖餐式)
- 23(月) ヨガ教室
- 24(火) マリア会
- 25(水) 歯科診療
- 26(木) やまびこ会
- 29(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 30(月) ヨガ教室
- 2(木) やまびこ会
- 3(金) 豆まき
- 5(日) 礼拝(み言葉の礼拝)

## 編集者から

明けましておめでとうございます。今年も愛の園ニュースをお楽しみいただけますよう努めてまいります。よろしく願いいたします。

12月28日に行った「お餅つき」についてご紹介いたしました。例年は入居者・利用者の皆さんに黄粉や餡子でつくたてのお餅を召し上がっていただきましたが、今年はノロウイルス感染症の流行もあって鏡餅作りだけとなりました。楽しみにしていた皆さんには物足りない行事となってしまう申し訳ありませんでしたが、集団感染の予防のためご理解をお願いいたします。

また、来園される皆さんにはインフルエンザの予防のためにも、館内への出入りの際には手洗い、うがい、マスクの着用にご協力くださいますよう、改めてお願いいたします。(A)